

中国圏広域地方計画の第二章（将来像）構成

将来像基本方向	施策の柱	基本施策(内容)
第一節 地域の多様性を活かした交流・連携で持続的に発展する中国圏		
1. 多様な地域が連携した一体感のある中国圏の形成		
(1) 歴史・文化の継承、創造	①世界遺産、文化財など地域の多様な歴史・文化の保存・継承、郷土の誇りを育む ②新たな地域文化の創造(芸術文化活動の振興、団体の支援、芸術祭の開催、食文化・伝統産業活用等) ③地域文化のブランド化とネットワーク化、地域間交流による中国圏としてのアイデンティティの高揚	
(2) 分散する都市を活かした中国圏の形成	①都市圏ごとの役割分担に応じた機能集積・連携により自立的中国圏を形成 ②県境を越えて広域化している都市圏において戦略的な機能の集積	
(3) 都市と中山間地域の多様な交流の拡大	①都市と中山間地域の多様な交流の拡大 ②UII ターンのための受け入れ体制整備(情報発信、体験事業、生活支援ビジネスの育成、世話人設置) ③二地域居住の推進(住居、情報通信、交通等) ④都市農村交流の推進(農村体験、オーパー制度等) ⑤交流産業の振興(体験ツーリズム、直売所、道の駅等) ⑥流域交流圏の形成(環境保全、歴史・文化交流等)	
(4) 基幹的な交通機能の整備	①高規格幹線道路、地域高規格道路、国道等の道路整備 ②公共交通ネットワークの充実(広域バス路線、海上交通網、マルチモダール、空港、新幹線・鉄道の利便性向上等)	
(5) 情報通信ネットワークの強化	①情報通信基盤の整備(光ファイバー、DSL、無線の活用) ②情報通信基盤の利用環境の整備(地域公共ネットワークの相互接続、民間開放、アプリケーションコンテンツの整備)	
2. 隣接ブロックを含めた交流・連携による活力・魅力の向上		
(1) 隣接ブロック等との広域連携の推進	①日本海沿岸各県の広域連携(歴史・文化交流、観光ルート、環日本海交流、交通・物流ネットワーク等) ②瀬戸内海における広域連携(自然環境の保全・創造、防災ネットワーク、歴史・文化交流、観光ルート等) ③国際交通・高次医療・環境保全・災害対応・国際交流等の広域連携	
(2) 広域的な産業連携の推進	①ブロックを超えた産学官ネットワークの形成、産業集積間の連携のための体制構築(自動車部品の供給ネットワーク、水素社会システム構築等) ②瀬戸内海沿岸地域の環境産業の連携促進(産業廃棄物の広域的受け入れ等)	
(3) 広域観光の推進	①資源に磨きをかけ、新たな観光資源の発掘・創出 ②新たな観光推進(産業観光、グリーンツーリズム、健康増進型観光等) ③広域観光ネットワーク形成と二次交通の整備 ④観光情報の発信(HP、キャンペーン等) ⑤観光受け入れ体制の充実(観光ボランティアガイド、研修、おもてなしの推進等)	
3. 東アジアをはじめ世界に開かれた交流・連携		
(1) グローバルゲートウェイ機能の強化	①港湾・空港の機能強化 ②東アジア各地域とのシームレスな物流ネットワークの実現 ③国際航空路線の拡充	
(2) 国際経済交流の推進	①広域連携体制の整備(海外事業展開支援、投資環境の整備と誘致等) ②国際経済交流推進(経済ミッションの派遣・国際見本市の誘致等)	
(3) インパウンド観光の振興	①瀬戸内海などの中国圏特有の魅力の創出 ②空港連携による国際観光周遊コースの開発 ③受け入れ体制の強化、海外向け情報発信(外国語表記、ビジットジャパン案内所の充実等)	
(4) 国際文化交流の推進	①大学・NPO 等による多面的な国際交流推進 ②国際交流機能の充実(国際機関の誘致、国際会議・文化イベントの開催、国際貢献拠点機能の強化等) ③多文化共生社会の形成(外国人居住に対応した生活環境整備、外国人との交流機会の確保、意識啓発等)	
(5) 国際貢献の拡大	①国際的支援(平和貢献・医療、災害の復旧・復興等) ②国際的な環境技術協力(技術、環境保全の取り組み等) ③国際的な人材育成支援(留学生、研修生の受け入れ等) ④隣接する沿岸諸国との連携が必要な環境問題への取り組みの推進(環境技術対策、砂漠緑化などの技術協力等)	

4. 中国圏の持続的発展を支える多様な人材の育成・確保	
(1) 教育・学習システム改革の推進	①初等・中等教育の充実と地域と学校の連携(外部講師の活用等) ②専門職大学院の拡充や専門学校育成など社会人の学習機会確保 ③大学の地域連携機能強化と高等教育機関相互の連携や企業も参加した地域の高等教育機能の充実(単位互換、専門職大学院の連携等)
(2) 産業を支える人材の育成・確保	①産業人材の育成(次世代産業の創出をターゲットとした人材育成、大学を活用した人材育成プログラム開発等) ②ものづくりを支える技術・技能者の地域ぐるみでの育成 ③コミュニティビジネスを担う人材の確保・育成 ④産業界・経済界と連携した人材育成(企業における体験学習、インターンシップなど)
(3) 地域を支える人材育成	①シニア世代、若年層など多様な人材の育成 ②都市と中山間地域の人材交流と協働(地域づくり講座、研修、活動支援等)
第二節 産業集積や地域資源を活かした新たな挑戦で、持続的に成長する中国圏	
1. 国際競争力のある産業の振興	
(1) 基幹産業の国際競争力の強化	①基礎素材型産業の高付加価値化(研究開発、川下産業との連携、世界シェアの確立等) ②次世代自動車産業の育成(技術強化、メカトロ等異分野技術の融合等) ③臨海コンビナートの運営機能の統合等
(2) 国際的な物流基盤の強化	①基礎素材型産業を支える産業港湾の再生・機能強化 ②東アジア各地域とのシームレスな貨物輸送ネットワークの実現 ③港湾・空港へのアクセス道路、航路の誘致、日本海側の物流機能強化
(3) 産業集積の広域連携や知的資源を活かした新技術・新産業の創出	①新技術・新産業の創出促進(自動車関連先端部品加工、医療・福祉、バイオ、電子・電気、FPD、環境分野等における関係機関の連携等) ②産業集積間の広域連携(産業コーディネーターの連携、推進機関連携、大学間連携、産業集積間の連携等) ③大学のシーズを駆使した新技術・新産業創出(産学官ネットワーク形成・強化、TLO強化、大学発ベンチャー支援、研究開発拠点整備等)
(4) 産業集積の機能を高める戦略的な企業誘致等	①戦略的な企業誘致(立地ニーズに対応した工業団地整備、物流基盤の整備、立地支援策の強化等) ②助成制度の充実による戦略的な企業の立地促進、税制優遇措置などの新たな産業立地政策の検討 ③農工商連携などの産業間連携の推進
(5) エネルギー環境対策の推進	①次世代型コンビナートの形成(RING III事業の活用、設備の相互利用、副生物の高度利用、パイプラインネットワークの再構築等) ②静脈産業とリサイクルが一体化した拠点地区の形成(リサイクルポートの指定、エコタウン、静脈物流システムの構築等) ③水素タウン、バイオマス供給センター構想の推進 ④環境負荷の少ない物流体系(内航フィーダー輸送体系確立等) ⑤地球温暖化防止に向けた環境負荷の低減(資源有効活用の推進、住宅の長寿命化、ヒートアイランド対策、公共交通利用、モーダルシフト、新エネルギー利用拡大、エネルギー利用効率の一層の向上、エネルギー源の多様化等)
2. 地域の活力につながる産業の振興	
(1) サービス産業におけるイノベーションと生産性向上の促進	①製造管理ノウハウのサービス産業への導入 ②IT活用によるサービス産業のイノベーション促進 ③ものづくりと融合した情報サービス業の高度化(自動車産業との融合、産学官連携等) ④コンテンツ産業の育成(アニメ・映画等)等 ⑤サービス産業の創出支援
(2) 生活関連サービスの振興	①コミュニティビジネスの支援(人材の発掘・育成、活動拠点の確保、資金支援、ワンストップ窓口充実、NPO支援等) ②生活関連サービスの高度化(健康・福祉サービスにおけるIT活用等)
(3) 中国圏を支える自立拠点都市圏の機能強化	①都市圏の機能分担と連携による自立拠点都市圏整備 ②国際的な交流・物流基盤の整備(空港・港湾の整備と航路開設、アクセス交通等) ③人材が育まれる都市環境形成(高次文化、エンターテインメント、情報、人材育成、国際交流などの都市機能の高度化等) ④魅力的な都市空間づくり(都心部や交通拠点における都市再開発、景観等) ⑤交通基盤整備(都市内道路・公共交通、都市間の道路・公共交通等) ⑥集約型市街地形成(中心市街地活性化、交通結節点の機能強化、バリアフリー化、TDMによる都市圏交通円滑化等)
3. 地域資源を活かした地域経済の活性化	
(1) 農林水産業の再生	①新規就業等の担い手育成・確保と農林水産業の基盤整備(認定農業者制度の活用、農地リース方式導入、林業の路網整備や高性能機械の導入、水産業の水産資源確保や漁港の機能など) ②地域の食文化の醸成とブランド形成(農林水産業と関連商工団体の一体的支援、直売所の設置、朝市の開催、地域流通促進等)

	(2) 地域資源を活かした新産業創出等	①地域資源活用による新商品・新事業開発支援（技術開発支援、販路開拓支援、企業立地促進等） ②地域ブランド形成と観光サービス業の連携 ③輸出の促進 ④バイオマスエネルギーの生産（未利用間伐材の活用、林地残材活用、木材チップの活用、バイオエタノール産業化等） ⑤農工商などの産業間連携の推進
第三節 多彩な文化と自然を活かして、多様で豊かな生活を楽しめる中国圏		
1. 中山間地域と都市地域との交流・連携などによる生活サービス機能の確保		
	(1) 中山間地域における一次生活拠点の確立と多様なサービス提供	①過疎対策の一層の充実（住民福祉向上、雇用創出、多面的な役割の發揮等） ②一次生活拠点の整備（行政・商業・医療等の機能の集約と交通機能との結節等） ③一次医療サービスシステムの充実（保健センターと診療所の連携等） ④地域ケアシステムの整備充実、遊休公共施設の居宅介護施設の転用や保育所と福祉機能の複合化等 ⑤地域の実情・ニーズに応じた交通システムの整備、配達型のサービス提供 ⑥中山間地域のデジタルデバйд解消
	(2) 中山間地域と生活中心都市の機能連携	①高次生活サービス機能の充実、中心市街地などの二次生活拠点の整備 ②二次医療圏における病院の整備・救急医療サービスの充実 ③医師不足に対応して、機能集約等による病院間の機能分担による広域的医療体制の構築 ④近隣拠点都市の二次医療機能との連携 ⑤初等教育・高等学校の維持・充実と遠距離通学のための交通機能の確保
	(3) 地域を支える高次な生活支援機能の整備	①三次医療機能の整備と医療ネットワーク（救命救急センター、ドクターヘリ等） ②生活の拠点間の交通網や都市間をネットワークする高速交通網の整備
	(4) 都市地域の快適な生活環境の整備	①生活拠点圏内での公共交通整備（利便性向上、駅のバリアフリー化、低床式バスの導入、ＩＣカード導入等）②生活環境整備（汚水処理、住宅の長寿命化、子育て支援体制の整備等）③中心市街地の活性化
2. 安全・安心な国土・地域づくりの推進		
	(1) 国土管理の推進	①治水・土砂対策の推進 ②砂防施設と総合土砂管理（下流に土砂を流す砂防堰堤、ダムの流入土砂量抑制、貯水池内土砂の排除、導流堤の設置や浚渫等） ③流域圏での総合的な施策展開（水源地ビジョンの策定、間伐の推進、遅参施設の整備、地下水管理、水資源の効率的利用、水辺の再生等）
	(2) 災害に備えたハードとソフトの整備	①防災拠点の整備、建築物等の防災機能の確保、海岸保全施設整備 ②港湾・空港・幹線道路などの耐震性強化（耐震強化岸壁、港湾緑地、臨港道路の耐震補強、老朽海岸施設対策等） ③防災・減災の機運醸成（防災情報入手方法の周知、防災教育の支援等） ④防災生活圏の強化（消防団や自主防災組織活動強化、ハザードマップの整備等） ⑤情報通信システムの整備（防災行政無線網、携帯電話・インターネットなどの活用等） ⑥広域的な防災・危機管理体制の強化（都市中枢機能の相互ネットワーク化、交通・情報通信・ライフラインの多重化、都市と中山間地域の防災協定等）
	(3) 自然環境の保全	①健全な生態系の維持・形成（エコロジカルネットワークの形成、自然とのふれあいの場の整備等） ②次世代への環境・景観の継承（若年層の自然体験や景観保全活動等） ③沿岸域の環境整備 ④海洋資源保護（海底資源の保護等）
	(4) 中山間地域の多面的機能の維持	①中山間地域の多面的な役割の維持・増進 ②持続的な農業・林業の推進と財政的支援（森林環境税、中山間地域等直接支払制度等） ③都市住民による森林管理や農地管理（里山レンジャー制度、NPO等） ④土地所有の空洞化への対応（土地の共同管理・利用を行う体制づくり、所有権と利用権を分けた土地利用）
3. 多様な主体が連携・協働した地域づくりの推進		
	(1) 自立した地域活動を推進する多様な主体が協働できる仕組みづくり	①新たな公による協働の地域経営（新たな地域コミュニティの形成やNPOによる共助の仕組み作り、新たな地域自治組織等） ②ボランティアな活動とコミュニティビジネス型の活動の推進 ③新たな公を支えるための助言・支援を行う中間的な支援組織の設立 ④中国圏レベルでの交流・連携 ⑤コミュニティビジネスを支援する仕組み・制度の設立 ⑥PFI・PPPの推進